



市公式キャラクター  
『エーナ』



恵那市役所報道発表資料

令和5年1月26日

|     |               |       |                          |
|-----|---------------|-------|--------------------------|
| 所 管 | 教育委員会事務局生涯学習課 |       |                          |
| 担 当 | 吉村 新悟         | 問い合わせ | 0573-26-2111<br>(内線 477) |
| 所 管 | 中山道広重美術館      |       |                          |
| 担 当 | 常包 美穂         | 問い合わせ | 0573-20-0522             |

報 道 機 関 各 位

## 企画展「花は桜木—江戸っ子お花見事情—」の開催について

上記企画展の開催についてお知らせします。

### 記

1. 会 期 令和5年1月26日（木曜日）から令和5年2月26日（日曜日）  
開館時間：午前9時30分から午後5時  
（入館は午後4時30分まで）  
休館日：月曜日、2月24日（金曜日）
2. 場 所 中山道広重美術館（大井町176番地1）展示室1
3. 内 容 花といえば桜を指すようになったのは、平安時代のこと。花見の文化は畿内から地方、貴族から武士へと広まり、江戸時代には庶民にまで普及しました。8代将軍・徳川吉宗による政策の一環で江戸の各地に植樹された桜木は、詩歌や地誌、浮世絵などに取り上げられ話題を集めると、春には大勢の花見客でにぎわう桜の名所に。江戸っ子たちはごちそうを重箱に詰め、晴れ着に身を包んで出かけていきました。  
本展では、浮世絵師・歌川広重による名所絵や版本『絵本江戸土産』から、江戸庶民の行楽地として人気を博したお花見スポットをご紹介します。来る春を待ちながら、一足早いお花見をお楽しみください。



4. 主催 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館
5. 料金 一般 520 円（20 名以上の団体は 420 円）  
※18 歳以下無料  
※障がい者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）をお持ちの方と付き添いの方 1 人は無料  
※毎週水曜日はフリーウエズデー、毎週金曜日はフリーフライデー（共に終日観覧無料）  
※毎月第 1 日曜日は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料

## 6. 図版



歌川広重

「江戸近郊八景之内 小金井橋夕照」

大判錦絵 天保 8～9 年（1837-38）

中山道広重美術館蔵（田中コレクション）

小金井橋が架かる玉川上水沿いの桜並木は、徳川吉宗の時代に新田開発の一環として植樹されたといわれています。江戸の中心部から 7 里半（約 30 km）ほどに位置しており、庶民は泊まりがけで花見の小旅行を楽しみました。広重は、江戸近郊の名所として夕暮れ時の小金井橋周辺を取り上げています。土手の床几には、美景を前にくつろぐ花見客たち。そこへ、赤い前掛けの女性が飲食物を運んできます。紅霞の向こうに見えるのは、白い富士山です。本図を手にした江戸っ子たちも、玉川上水の清流に優美な桜並木、富士の秀麗な山容を一举に堪能できる景勝地に、好奇心をかき立てられたことでしょう。

## 7. 関連イベント

### （1）学芸員による作品ガイド

日 時：2 月 5 日（日曜日）午前 10 時 30 分から約 30 分間を予定

場 所：展示室 1

### （2）解説ボランティア幽遊会による作品ガイド

日 時：随時（要事前予約）

企画展「花は桜木—江戸っ子お花見事情—」出品作品リスト

|    | 作者     | 資料名                  | 判型      | 制作年                 | 備考       |
|----|--------|----------------------|---------|---------------------|----------|
| 1  | 歌川広重   | 絵本江戸土産 東(初編)         | 中本彩色摺1冊 | 嘉永3～慶応3年(1850-1867) | 田中コレクション |
| 2  | 歌川広重   | 隅田川堤の花見              | 大判錦絵三枚続 | 弘化4～嘉永4年(1847-51)   | 田中コレクション |
| 3  | 歌川広重   | 不二三十六景 東都隅田堤         | 中判錦絵    | 嘉永5年(1852)12月       |          |
| 4  | 歌川広重   | 名所江戸百景 隅田川水神の森真崎     | 大判錦絵    | 安政3年(1856)8月        | 吉村コレクション |
| 5  | 歌川広重   | 絵本江戸土産 南(二編)         | 中本彩色摺1冊 | 嘉永3～慶応3年(1850-1867) | 田中コレクション |
| 6  | 歌川広重   | 四季江都名所 春 御殿山之花       | 中短冊判錦絵  | 天保5年(1834)頃         | 田中コレクション |
| 7  | 歌川広重   | 東都名所 御殿山遊興           | 大判錦絵    | 天保年間(1830-44)後期     | 田中コレクション |
| 8  | 歌川広重   | 江戸名所三つの眺 御殿山花見       | 大判錦絵    | 天保年間(1830-44)後期     | 田中コレクション |
| 9  | 歌川広重   | 名所江戸百景 品川御殿やま        | 大判錦絵    | 安政3年(1856)4月        | 吉村コレクション |
| 10 | 歌川広重   | 絵本江戸土産 西(三編)         | 中本彩色摺1冊 | 嘉永3～慶応3年(1850-1867) | 田中コレクション |
| 11 | 歌川広重   | 新撰江戸名所 芝愛宕山上眺望之図     | 大判錦絵    | 天保11～13年(1840-42)頃  | 田中コレクション |
| 12 | 歌川広重   | 名所江戸百景 目黒千代か池        | 大判錦絵    | 安政3年(1856)7月        | 吉村コレクション |
| 13 | 歌川広重   | 名所江戸百景 目黒元不二         | 大判錦絵    | 安政4年(1857)4月        | 吉村コレクション |
| 14 | 歌川広重   | 名所江戸百景 目黒新富士         | 大判錦絵    | 安政4年(1857)4月        | 吉村コレクション |
| 15 | 歌川広重   | 絵本江戸土産 四編            | 中本彩色摺1冊 | 嘉永3～慶応3年(1850-1867) | 田中コレクション |
| 16 | 歌川広重   | 江戸近郊八景之内 小金井橋夕照      | 大判錦絵    | 天保8～9年(1837-38)     | 田中コレクション |
| 17 | 歌川広重   | 富士三十六景 武蔵小金井         | 大判錦絵    | 安政5年(1858)4月        | 田中コレクション |
| 18 | 歌川広重   | 名所江戸百景 玉川堤の花         | 大判錦絵    | 安政3年(1856)2月        | 吉村コレクション |
| 19 | 歌川広重   | 江都名所 飛鳥山はな見          | 大判錦絵    | 天保年間(1830-44)       | 田中コレクション |
| 20 | 歌川広重   | 東都飛鳥山の図 王子道狐のよめ入     | 大判錦絵三枚続 | 天保年間(1830-44)後期     | 田中コレクション |
| 21 | 歌川広重   | 富士三十六景 東都飛鳥山         | 大判錦絵    | 安政5年(1858)4月        |          |
| 22 | 歌川広重   | 名所江戸百景 王子音無川堰埭世俗大瀧ト唱 | 大判錦絵    | 安政4年(1857)2月        | 吉村コレクション |
| 23 | 歌川広重   | 東都名所 日暮里             | 大判錦絵    | 天保年間(1830-44)後期     | 田中コレクション |
| 24 | 歌川広重   | 名所江戸百景 日暮里諏訪の台       | 大判錦絵    | (安政3年(1856)5月)      | 吉村コレクション |
| 25 | 歌川広重   | 名所江戸百景 日暮里寺院の林泉      | 大判錦絵    | 安政4年(1857)2月        | 吉村コレクション |
| 26 | 歌川広重   | 絵本江戸土産 五編            | 中本彩色摺1冊 | 嘉永3～慶応3年(1850-1867) | 田中コレクション |
| 27 | 歌川広重   | 東都名所 上野東叡山中清水堂花見     | 中短冊判錦絵  | 天保9年(1838)頃         | 田中コレクション |
| 28 | 歌川広重   | 東都上野花見之図             | 大判錦絵三枚続 | 弘化4～嘉永4年(1847-51)   | 田中コレクション |
| 29 | 歌川広重   | 名所江戸百景 上野清水堂不忍ノ池     | 大判錦絵    | 安政3年(1856)4月        | 吉村コレクション |
| 30 | 歌川広重   | 絵本江戸土産 六編            | 中本彩色摺1冊 | 嘉永3～慶応3年(1850-1867) | 田中コレクション |
| 31 | 歌川広重   | 東都名所 新吉原五丁町弥生花盛全図    | 大判錦絵三枚続 | 天保年間(1830-44)初期     | 田中コレクション |
| 32 | 歌川広重   | 東都名所 吉原仲之町夜桜         | 大判錦絵    | 天保3～10年(1832-39)頃   | 田中コレクション |
| 33 | 歌川広重   | 江都名所 吉原桜之図           | 大判錦絵    | 天保年間(1830-44)       | 田中コレクション |
| 34 | 歌川広重   | 江戸名所 よし原仲の町 桜の紋日     | 大判錦絵    | 嘉永6～安政元年(1853-54)頃カ | 田中コレクション |
| 35 | 歌川広重   | 名所江戸百景 廓中東雲          | 大判錦絵    | 安政4年(1857)4月        | 吉村コレクション |
| 36 | 歌川広重   | 京都名所之内 あらし山満花        | 大判錦絵    | 天保5年(1834)頃         | 田中コレクション |
| 37 | 歌川広重   | 六十余州名所図会 山城 あらし山 渡月橋 | 大判錦絵    | 嘉永6年(1853)7月        |          |
| 38 | 歌川広重   | 京都名所之内 清水            | 大判錦絵    | 天保5年(1834)頃         | 田中コレクション |
| 39 | 二代歌川広重 | 諸国名所百景 大坂 天保山        | 大判錦絵    | 安政6年(1859)10月       |          |
| 40 | 二代歌川広重 | 諸国名所百景 大和 長谷寺        | 大判錦絵    | 安政6年(1859)9月        |          |
| 41 | 二代歌川広重 | 諸国名所百景 大和 よし野山       | 大判錦絵    | 安政6年(1859)10月       |          |

計41点(全て中山道広重美術館蔵)

企画展

# 花は桜木

—江戸っ子お花見事情—

会期

令和5年(2023)

1.26(木) → 2.26(日)

中山道広重美術館

Hiroshige Museum of Art, Edo

【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

○毎週水曜日は観覧無料、フリーウェルズデー  
(スポンサー) (株) 三菱UFJ銀行、ナカヤマ・グループ、(株) デジタ  
●毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー  
(スポンサー) (株) 銀の森コーポレーション  
深田住宅・カネコ・木KeyPoint、(株) サラダコスモ もりり村

# 花は桜木

—江戸っ子お花見事情—

令和5年(2023)

会期 1.26(木) … 2.26(日)

## 日本の春の風物詩、お花見。

花見の起源は奈良時代とされていますが、当初は中国から伝来した梅の観賞が主流でした。国風文化が栄えた平安時代から、花見の「花」といえば日本古来の桜を指すようになります。桜の咲き散る姿を愛で、時には宴会を催す花見の文化は、畿内から地方、貴族から武士へと広まり、江戸時代には庶民にまで普及しました。江戸における花見ブームの仕掛け人は、8代将軍・徳川吉宗です。政策の一環で江戸の各地に植樹された桜木は、詩歌や地誌、浮世絵などに取り上げられ話題を集めると、春には大勢の花見客でにぎわう桜の名所に。江戸っ子たちはごちそうを重箱に詰め、贈れ着に身を包んで出かけていきました。

本展では、浮世絵師・歌川広重による名所絵や版本『絵本江戸土産』から、江戸庶民の行楽地として人気を博したお花見スポットをご紹介します。来る春を待ちながら、一足早いお花見をお楽しみください。

### 【図版解説】

歌川広重「江戸近郊八景之内 小金井橋夕照」

大判錦絵 天保8～9年(1837-38) 当館蔵(田中コレクション)



小金井橋が架かる玉川上水沿いの桜並木は、徳川吉宗の時代に新田開発の一環として植樹されたといわれています。江戸の中心部から7里半(約30km)ほどに位置しており、庶民は泊まりがけで花見の小旅行を楽しみました。広重は、江戸近郊の名所として夕暮れ時の小金井橋周辺を取り上げています。土手の床几には、美景を前にくつろぐ花見客たち。そこへ、赤い前掛けの女性が飲食物を選んできます。紅霞の向こうに見えるのは、白い富士山です。本図を手にした江戸っ子たちも、玉川上水の清流に優美な桜並木、富士の秀麗な山容を一挙に堪能できる景勝地に、好奇心をかき立てられたことでしょう。

中山道重美術館

Hiroshige House of Art, Inc.

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町 176-1

TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322

https://hiroshige-ena.jp

\*JR 中央線恵那駅から直進徒歩約5分

\*中央自動車道恵那インターから約5分



観覧料 大人520円(20名以上の団体は420円)  
18歳以下無料、障がい者観覧をお持ちの方と  
付き添いの方1名は無料  
開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)  
休館日 毎週月曜日、2.24(金)

### 【関連イベント】

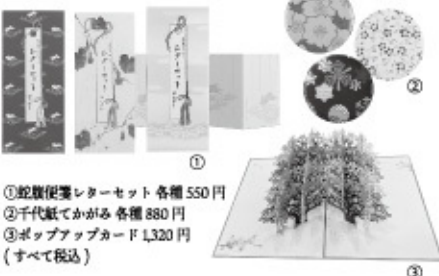
- ◆学芸員による作品ガイド  
日時:令和5年2.5(日) 10:30～(30分程度)  
場所:展示室1(1F)
- ◆解説ボランティア鑑賞会による作品ガイド  
日時:随時(要事前予約)

Museum  
Shop  
News

ミュージアムショップから

桜、サクラ、さくら。

まだまだ寒い日が続きますが、ミュージアムショップでは企画展「花は桜木—江戸っ子お花見事情—」に合わせて、桜の商品を販売いたします。創業から200年、日本橋で和紙と和紙小物を販売している「権原」の手鏡や、蛇腹便箋レターセットなど、一足早い桜をお持ち帰りください。また「アートワークス」より、桜並木のポップアップカードも入荷いたしました。なかなか会えない大切な人に是非どうぞ。



- ①蛇腹便箋レターセット 各箱 550円  
②千代紙でかがる 各箱 880円  
③ポップアップカード 1,320円  
(すべて税込)

### Information

広重の「おじさん」が東京でも!

過去に当館で開催した企画展「ゆる旅おじさん図譜」(2018年)、春季特別企画展「ゆる旅おじさん図譜リターンズ」(2021年)のコンセプトを元に、新たに構成した展覧会「広重おじさん図譜」展が、東京の太田記念美術館で開催されます。広重の描く「おじさん」たちは皆、個性豊かで愛嬌たっぷり。よく知られている広重の名品も、「おじさん」たちを通して眺めることで、今までとは違った見方、楽しみ方ができるかもしれません。東京へお出かけになる際は、ぜひ足をお運びください!

企画展「広重おじさん図譜」

太田記念美術館

(東京都渋谷区神宮前1-10-10)

前期 令和5年2.3(金)～2.26(日)

後期 3.3(金)～3.26(日)

※前後期で全点展示替え

休館日 毎週月曜日、

2.28(火)～3.2(木)

開館時間 10:30～17:30(入館は17:00まで)

太田記念美術館及び展覧会に関する詳しい情報について

は、公式ウェブサイト

(<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>)をご覧ください。

